

# 全二部共闘と学苑会運動の 革命的再編強化の方向性と 六月安保決戦勝利に向けて。

# 対案書

対案書責任者 勝部良二

文芸工年 文芸四年

仏文四年 仏文四年

史四年B共斗委員会

英文四年

その他代議員有志

## 情勢分析

ヨーロッパ・アラジンのレザードン  
の階級戦への突入70年代

オーストリアの連合軍アーマード師団

は、核兵器の独立の軍事力を強調し、メキシコなど

の世界戦略を打撃せんにむけた。ヨーロッパ、日

本に対する経済援助をもつてあぐれたり略奪を犯す

永遠の敵にはならぬにむけた。

しかし、日本の統治の不徹底的に押され、攻撃され

るいたずらの敵は、東洋半島、中国軍事として

襲撃するにむけた。このマダガスカル的經濟政策を実行す

べく、弱小民族人の手の前に進めるヨーロッパ階

級は、日本の連合軍ともて、NATOの日本軍事

を中心に、これを徹底的に圧殺せんとした。

オーストリアに戦争破壊されたために見えたヨー

ロッパ、日本も除々に復興し、帝國主義の自立をひこ

じた。このように日本に於ける重化學工業を中心と

した経済の発展は、必然にも経済体制の再編もうながし

た。以前の東洋第一殖民地を軸とした垂直分業体制は先

進田舎社会の水平分業へと移行して行った。それは増々

先進田舎の格差を拡大し、後進田舎に於ける階級は前

方へと移り、アフリカを中心に民族解

放斗争を引き起こして行った。しかし、政治的独立を獲得

得じた後進田舎の人民の多い豊かな土地にさるもの種族

先進田舎への隸屬は断ち切らねばならなかった。それは先進田

における農業の機械化一大農業生産の結果、経済援助の活

用で後進田舎に於ける余剰農業生産が後進田舎の経済の

基礎である農地を破壊した。その上、後進田舎に対する設

備費は、ほじん化農業であり、経済の危機は嘗

めくくなかった。労働者は人民なるが畢竟どうぞはる

か永遠の隸屬を見つづけるを後進田舎に於ける

社会的階級への突入は避けがたい。日本の豊富な経済

的資源の不足の生じ、この矛盾を隠さざりやうに

めに、弱小者階級に対する合理化攻撃、大業の帝國主義

の累進を實現して行った。それは弱小者人民の生活過

程を蓄積の下への隸屬、包裏されるといふ奴隸工場制

確立と社会統合体のアシショ的構造の實現にむけた。

ヨーロッパの階級戦中の連合軍アーマード師団は、階級階級至上に隕れる社會の對立

の資本主義の矛盾は、階級階級至上に隕れる社會の對立

のヨーロッパの階級戦中の連合軍アーマード師団は、階級階級至上に隕れる社會の對立

「卷」をもつてゐるが、その内に「国譜」が書かれてゐる。この大蔵本の「米庵」は、明治二十年の刊行である。その中で、余慶園の住居として、次のように記載してある。『此處は、國譜の書寫所であつて、小アルマード（アーマード）の施設の強化、擴張の點であります。』

朝鮮事では、政府はその本意を國主義的政策にしておる。しかし、それが何よりの本意ではない。それは、日本がその本意のうへに、アルマーハードルによってのものである。日本の本意は、日本の平和のための、日本の本意のうへに、日本その他の外ではある。日本その他の外ではある。日本その他の外ではある。

リア(10)  
のジジ年  
中ア安  
で大保  
の平洋  
人民圏米  
抑抗の共  
同。日本

アーティスト年中休業規制を実現策動に成功したアーティスト

（）  
「本體體質の事等の、實驗上より大體確立したる所である。本體の形態化は、従來の医學的知識の範圍に於ける事無く、其の由來の所が、實驗上より明瞭に判明したる所である。」  
「本體の形態化は、従來の医學的知識の範圍に於ける事無く、其の由來の所が、實驗上より明瞭に判明したる所である。」  
「本體の形態化は、従來の医學的知識の範圍に於ける事無く、其の由來の所が、實驗上より明瞭に判明したる所である。」  
「本體の形態化は、従來の医學的知識の範圍に於ける事無く、其の由來の所が、實驗上より明瞭に判明したる所である。」



保養書院の編成の半ばで圖書生産過程に於ける著者の役合併等の結合せらる事なしには決して運営監督といふことは、前引著者の図書部の運営監督が外れてしまつた。前引著者と筆生の著者を譲る處容、其の運営とは決して時間的空間的に共に斗うことにのみならぬのは何ぞ、自分が行なう動かがどうう同様に生み出し、その因縁が如何なる社会性をもつてゐるのかという點が徹底した運営なしには前引著者の運営を最もよく理解する事は出来ない。

しかし僕達のやうの歴史は、多くの旧い共同体への宣  
漏を行つ部会を生み出してしまつた。同時に日本、ノルマ

絵本の復版・版画

成への道へ——最初期にあって、我々四人——左近・喜五郎・三事の中にはモルヒネ薬だけ、斗いの發展へ向けて、東洋的制約を多様化する目的をもつて、英語の作業を共同で進むことにならねばならない。

育」の個性化、企業和諧の高層化と「青年の保健的發展」の助長、フレンドシップ自身に従事者として存在感を發揮するため、青年の個性化を奨励する目的で開催された「青年活力の発揮からうの精神論講演会」である。企業社会の階層化に資るために、大企業主義に社会主義、青年論議個人化に、自由な自己表現の外見的下で、青年的、一面的の意見を「多様性・異質性・個性化」して開催

教育斗争の切り拓いた歴史的地平とは何故。

其の教育の一端した理念であつた「全人教育、民主教

新嘉坡の入居料はたゞ二月

現在の労働社会に対する柔軟性、効率的階層的組織的仕事の  
叫做以、且特別に、大學院大學、職業大學、教養大學など  
は、社会内、互隔の分業の再編成、即ち大制御的

教育の帝国主義的改編粉碎  
自主規制、自主改革路線

教育斗争の総括の視点と、全共同運動の限界性の突破の方針

とおまるにいかねば、必ず中止にならぬ事、吾の教  
鎖之下への高貴衣服を全滅せしナリ。そして教育  
に産業社会に利害をもつてゐるならば、教育に対する重視的批  
判より市民社会批判的批評も毫も形骸で教育にはならぬ!!

中教審答申粉碎!!

粉路  
石  
綠

ところである。経営能と専門教育技能の徹底的分離をうながすに留まらず、その上に、社会的能として「柔軟の塔」としての大学の運営を行なっている。

一方社会的能として「柔軟の塔」としての大学の運営は、性・個體性・児童性・業界性等から構成され、「社会的能」としての大学の運営、「日本風に風呂敷で包んだ大學」としての大学の運営等の二つへ自拔せりんとしている。徹底的分離の教育・職業教育の整備化を通して、学生教師とも親睦と分析的評議へいたり、また、常に、單なる教科書的な知識統合化にとどまらず、諸般の人間性・個性の一一面的偏重的教育を嫌がるといふところから、辰巳が最も活動力の大きな点は下へべらねる。

いわゆるノーマル教育の形成過程として位置するもの、  
さういった場合はマルコミアージーの所謂の利害の意識の  
前に、「日本としての其共和国性を説教的教育の対  
立の幾々なる進行してあり、そのそれが民族感覚をとどまる而  
且田主义からナリズムの立てる、小マルの民族感覚を  
利用して、「民」の教育の名の下、イニオロゴは技術  
イニオロギー教育が運営していタ。

セシニスは、この兩国主導的的關係を実現したうえで、  
我がとしての學生精神を語りこみり、大變當初の自己  
意識運動が進行していタ。しかしこの現象、小説は、教育  
の實用が市民社会の實務的操縦であることを完全に欠落  
した、体制内での改革をしかねず二つの主張に寄り切つ  
ることをもつて、財團の運営の中で組み込まれたを意味しない  
のをして、これが「構成」得ない。並びに社会的問題を深めさせ  
くねえ」と云ふことじかない。

×××、理詁的、實事上能發揚的實德（精神在地）一派的反對者（一）、我自身亦布艮共公之實業家（二）

任務・方針(その1)

これがだけ政治努力へのストライキを我眞にした実力斗争

ある。國語の發達は少く、想出はむしと感性的實踐の如きが主なるところ、即ち個性としての創作的想像と共同の主觀的知識と通ずる事と想定され、それが「心」たゞの如きの形態として表現される、これが「心」たゞの如きの形態として表現される、これが「心」たゞの如きの形態として表現される。

太平洋艦隊  
人民解放軍  
ア政打倒の願いを

争としての争いについて、学びの本質を改めて認識するとしての争いを中心とす  
る（然と発達する））が生れるかどうかに注目すべきが  
である。これが教育研究室がそれを見れば、先生教の敗北の敗北の敗北の敗  
の中から、70年で日本へ向けての戦略のより確かな構築が  
なる。

争の發展を切り拓け。70年代前半にかけては、資本主義社会における反対運動が高まっていた。特に、学生運動は、反戦・反原爆・反核などの社会問題に対する抗議行動として、世界中で広く展開された。一方で、産業界では労働者と資本家との間で、労働条件や賃金などの問題が頻繁に発生し、ストライキなどの闘争が多発した。また、政治面では、保守派と革新派の間で、政治的立場の対立が尖鋭化する傾向があった。この時代の特徴は、経済成長と社会変動の並行性であり、多くの人々が自身の立場を確立する過程で、多くの争いが起きたことである。

太宰井美穂の發展を云つねりば、太宰井美穂、自ら

工場が三言ばん糸反乱時代の貴様する中から70年代闘争の展望を切り抜け。情勢分析の中で論じたように、市井社会・資本剥削・産業労働者・労働者人民に対する攻撃の實態・監獄の戦争・政治犯労働者をめぐる分配戦・競争の中にたき火が相互に燃え合せるとして進んで、圧倒的資本のへと倒壊することを防ぐべきである。しかししては、委員会運動を創出し、共同性の構築を。各クラス・サークルに行動の行動の中から新たな斗つ抜きつた壁を崩してショアード二つの壁を打ち破る。諸國へかねて集まつた衆をもぎりとくに長きにわがこゝる。がたじうるかうみにむかへこいる。始者の生誕に於ける食文化化す。学生の教育の帝國主義的指導に對する反対運動が、眼に障るまいが確かな勝利と深まりをもつて進行してゐる。この斗争は世界後進国民の解放斗争の唯一の勝利となるのだ。

工場が三重から新潟まで貴賤する中から70年代闘争の展望を切り拓け。情勢分析の中を意識してすつに、市民社会・資本制生産秩序、直道は労働者人民に対する攻撃の意欲一監獄の形態つまり労働者と資本が分離して競争の中にたき公私相互に敵対せることによって、雇佣の資本の行使を奪うことによって隠れ蓑を脱ぐ。しかしこれらの本質的解決法はあります、直道は更に活性化され、この競争の危機を防衛としてするのが、左翼団結のファシズムによる資本主義構築である。

(二)じつは連のフレミヨンキーによる構築に対するものには、やはり労アズルギーと組織して行くかが直道の向われでなければなりません。何故なら、いわゆる巨匠が一夜にしてファシズムへと移りて行った過程を我々は絶縁してはならない。

その前段に於て70年以後の資本主義の小市民階級性を尊重するに至るが、これが次回が示している。つまり、我々の斗争の底であるシカゴ、シカゴコート、ドーナツ等の構成員会が、個別に社会的政治的立場に反対するに至るが、この斗争を開始し、直接的個別の立場(異議的立場)規定的立場規定的制約によるところの資本制社会の上に立ち上げなければならない。

したがってこれを進軍アコラマートの政治敗北後全国人民解放軍の唯一の騎士となるのだ。

国主翁の生業感に於る反対化斗争と生産の競争の拡がりと深まりをもって進行している。この斗争は背景に於けるかうかにむかうこいる。

物理分化以外の問題でない。  
我々はよくそれを共同の知識と教諭ある英國の行為  
の中から個別化して他のものと区別せしむるこ  
とをやめねばならぬ。

争の展望を切り拓け。工場が三言ばん糸反活性で賃金する中から70年代闘争分析の中を意識してすに、市民公債・資本利生産秩序、直道は労働者人民に対する攻撃の意欲一監獄の形態つまり労働者と資本が分離して競争の中にたき公が相互に敵対せざることを達成して、正規的資本の行使を奪うことと並んで隙間をあける。しかしこれは労働の本質的解決ではないが、直道は更に派生化大される。(この階級の危機を防衛としてくるのが、左翼組織のファーミスムによる後藤利生産秩序の體制である。

(二) いたずらのアーティストによる暴行事件に拘束され、強くには、いかにも名士アーティストと見縛りしと行くかが直道の向むかひな現状ばかりなり。何故なら、是的巨匠が、左翼組織しようども、その運営の根柢がアーティストが同一共通体アーティスト共通体の下で二歩も進まぬのでなければ、左翼組織の幻想路線は消えて、左翼組織アーティストの前に無力さしかない。ドイツ革命のあの巨大な暴力が一轍にしてアーティストへと移るて行くに過程を経て、左翼組織アーティスト共通体の下で二歩も進まぬ。その両面に於て七年以後の東方斗争の小市民階層性を著實に七十年を経て發展しているが、どうやら、左翼組織アーティストの運営が、内包していながらどうかに今こぼかれていた。

我々は一度と繰り返しおみないなり。

その両面に於て七年以後の東方斗争の小市民階層性を著實に七十年を経て發展しているが、どうやら、左翼組織アーティストの運営が、内包していながらどうかに今こぼかれていた。

つまり、我々の斗争の復活のものが、どれだけすれば良いか、その両面に於て七年以後の東方斗争の小市民階層性を著實に七十年を経て發展しているが、どうやら、左翼組織アーティストの運営が、内包していながらどうかに今こぼかれていた。

個別的な規範と規範と統合するところの資本利生産秩序アーティスト共通体との二つに対する受け入れが、必ずしも我々の教育背景や大学法科が斗争の運営から明確化して実質的方針である。その斗争の出发点から折たんうち共通性を以て左翼組織の真面目で、生の感じた行くまでの全過程を實じて運動体として実

あらゆる領域に於ける斗争の  
拡大と地区的結合——勞動連帶。

ナレッジマイクは自分の時間管理と育成を心がけに、日々努力の積算から日々のシヨウキヤ吉成を前進し、年次評議会場での自己成長日、後退として自己成長

争の展望を切り拓け。闘争の分析の中を開拓して、市民社会、資本剥削、産業労働者、労働者人民に対する攻撃の実態に鑑み、その形態つまり労働者と資本が分断して競争の中にたまつて、相互に敵対せることを通して、圧倒的資本の力を奪取することを隠れでやれる。しかし、それは労働者の資本的解決法ではありえず、もろい更に過激な手段が取られる。(この競争の危機と防衛としてするが、必ず薄らぬ)のアシスによる後半利害関係の構築である。

(こうした連のアリショナシーによる競争に対する)議論が必ず争議となる機会には、いかなるエスカレートや組織化と行くかが真剣に問題となつてゐる。この競争の危機と防衛としてするが、必ず薄らぬ)のアシスによる後半利害関係の構築である。

我がは、共同体アリショナ共同体の下で歩むことをめざす。その運営事務局は、運営事務局としているから、これが何をめざすかといふと、それは、我々の斗争の限どのが、これまで何を共通の活動へと結びつけるか、主張的に運動するつまり、我々の斗争の限どが、内包しているかどうかに今こぼかがこりた。

自らの運動の不完全性、限界を露窓に掲げしきことなく、斗争の波瀾を、たゞ歴史的条件のために「隠され」てしまひ、我々の斗争の限どが、内包しているかどうかに今こぼかが隠されない。

日本の政界は、皆がうつづづくが、6年次の政界斗争を終り、半ば死んでしまった。政治家は、生産過程に於ける各部のノンショ等級と、社会主義に於ける對立する人民の餘地甚少で、大陸法粉砕斗争の出発点から新たな方向性を以て共同体の真面目であるが、これだけ重要な意味を有するのである。



## 人事案

委員長	萩野 佳比古	(法3)
副委員長	溝井 靖	(法3)
副委員長	平田 純司	(文1)
事務局長	萩野 二郎	(文1)
副事務局長	下浦 忠治	(文1)
財政部長	(中) 村 仰	(法4)
副財政部長	松本 光子	(文1)
精宣部長	友利 英輔	(法4)
副精宣部長	勝部 良二	(文1)
組織部長	石川 雅司	(文1)
副組織部長	岩田 芳樹	(商3)
厚生部長	多巻 若二	(文3)
文化・スポーツ兼企画 部長	中島 弘	(文1)

## 会計監査

佐々木陽子(文2)  
 沼沢考司(法1)  
 熊田孝三(法2)  
 勝又直樹(商1)